

配給会社アルバトロス・フィルム公式HPより

アカデミー賞ノミネート監督 ハニ・アブ・アサドが贈る！

**亡き姉との約束を果たすため、戦地ガザから命がけて脱出し、
歌手になる夢を叶えた、実在スターの感動ストーリー**

舞台は、2005 年のパレスチナ・ガザ地区。紛争と封鎖の中で命さえも保証のない厳しい毎日を送っている少年ムハンマドは、「スター歌手になって世界を変える」という夢を抱き、姉ヌールや友人たちと拾ったガラクタで楽器を作り、バンドを組んで歌っていた。しかし姉は重い病に倒れ、両親が治療費を用意できないまま亡くなってしまったのだ。彼は姉との約束を胸にガザの壁を越えて、オーディション番組への挑戦を決意する…。



モデルは、2013 年に「アラブ・アイドル」で優勝した実在の歌手ムハンマド・アッサーフ。危険を冒してガザを脱出し、勝ち抜くたびに、パレスチナの国民の期待を一身に背負う存在となり、今ではアラブ世界のスターとして歌手を続けながら、国連パレスチナ難民救済事業機関青年大使を務めるなど、平和活動にも取り組んでいる。出演する子どもたちは実際にガザで暮らす少年少女たちである。

日本ユニセフ協会HPより ガザ人道危機

この紛争で人道支援を必要としている子どもの数 170 万人以上

※ガザ地区およびヨルダン川西岸地区、2026 年 5 月現在



© UNICEF/UNI863960/El Baba
激しい空爆が続く中、ガザ地区南部へと避難する人々
(パレスチナ、2025 年 9 月 15 日撮影)

2023 年 10 月に始まった武力衝突は、2025 年 10 月 10 日の停戦合意を経て、その後の国境の一部再開も加わり、ガザ地区では食料へのアクセスがわずかに改善しました。その結果、子どもや妊娠中・授乳中の女性の栄養状態には一定の改善が見られましたが、依然として紛争前の水準には戻っておらず、深刻な状況が続いています。慢性的な栄養不良や栄養素不足も引き続き大きな課題となっています。

ガザでは約 80 万人の子どもたちが今も避難生活を送り、不衛生で過密な環境の中で暮らしています。虫やねずみの発生、プライバシーの不足など、厳しい生活環境が子どもたちの健康や安全に影響を及ぼしています。また、ヨルダン川西岸地区でも状況は深刻です。2026 年の最初の 3 カ月だけで、暴力や移動制限により 1,700 人が避難を余儀なくされ、その多くが子どもでした。

こうした中、ユニセフとパートナー団体は、子どもたちが再び学び、日常を取り戻せるよう支援を進めています。教室が使えない状況でも、学習センターや地域スペースを活用し、子どもたちに安全な学びの場を提供しています。さらに、安全な水や衛生環境、保健サービスへのアクセスを改善するとともに、現金給付や学習資材の提供を通じて、子どもたちと家族の生活を支えています。

子どもたちの未来を守り、復興を前に進めるためには、停戦の継続に加え、避難所環境の改善や支援物資の安定的な供給が不可欠です。ガザの子どもたちが安心して学び、再び日常を取り戻せるよう、国際社会の継続的な支援が強く求められています。



『ユニセフ職員が見たガザの子どもたち』 写真展を会場内にて開催

本展示は、ユニセフハウス(東京都)で、2025 年 12 月に開催された『フォトマ・ハッスーナ写真展』のサブ展示として併設されたパネル展の写真です。



予告: ユニセフ写真展『ユニセフ職員が見た子どもたち』 2026 年 8 月 27 日～31 日 豊中市
千里文化センター「コラボ」10:30～16:30 (8 月 27 日のみ 13:00～16:30) 入場無料